

新県民体育館整備事業コンストラクション・マネジメント委託業務
公募型プロポーザル審査委員会 審査結果報告

1 選定結果

新県民体育館整備事業コンストラクション・マネジメント委託業務公募型プロポーザル審査委員会（以下、「審査委員会」という。）において、当該委託業務のプロポーザルについて審査を行い、次のとおり、契約候補者を選定した。

○契約候補者

日建設計 CM・上田建築事務所共同企業体

2 審査委員会の開催概要

日程：令和8年9月17日（木）

場所：高知県職員能力開発センター202

委員：5名出席

概要：3者によるプレゼンテーション及び質疑を実施し、契約候補者及び次点候補者を選定した。

3 審査結果の詳細

【審査の項目】

総合得点は 500 点（審査委員 5 名、審査委員 1 人あたり 100 点）とし、審査項目ごとの審査委員 1 人あたりの配点は次のとおり。

審査の項目		配点
発注者支援	リスクへの対応方針、迅速な意思決定に対する支援	10 点
	業務負担軽減及び業務効率化への支援	5 点
品質管理	設計図書のチェック方法	5 点
	業務説明書と設計内容の整合の確認方法	5 点
コストマネジメント	コスト管理方法	5 点
	CD・VE に必要な視点及び実施方法	10 点
	建設市況（実勢価格）の把握方法及び精度向上方法	10 点
工程管理		15 点
工事施工者確保		15 点
業務実施体制	業務実施方針、業務体制図	5 点
	配置予定技術者の経歴及び実績	5 点
地理的条件		5 点
経費見積		5 点

【審査結果】

審査の項目	配点		候補者	次点者	3 位
			日建設計 CM・ 上田建築事務 所共同企業体	A 社	B 社
発注者支援	75 点	50 点	48 点	36 点	40 点
		25 点	24 点	18 点	22 点
品質管理	50 点	25 点	22 点	20 点	21 点
		25 点	22 点	20 点	21 点
コストマネジメント	125 点	25 点	23 点	22 点	20 点
		50 点	40 点	44 点	40 点
		50 点	44 点	37 点	37 点
工程管理	75 点		69 点	64 点	56 点
工事施工者確保	75 点		59 点	69 点	58 点
業務実施体制	50 点	25 点	22 点	22 点	21 点
		25 点	22 点	21 点	21 点
地理的条件	25 点		15 点	15 点	0 点
経費見積	25 点		20 点	25 点	25 点
総合得点	500 点		430 点	413 点	382 点

4 審査の講評

各提案者に対する講評は次のとおりである。

○候補者（日建設計 CM・上田建築事務所共同企業体）

基本計画の内容をよく理解しており、3者の中で最も想定されるリスクとそれに対する対応が具体的に提案されており、高評価につながった。

設計業者よりも先行して本業務の事業者が選定される期間を活かした「Phase0」の取組方針が、様々なリスクに対して早期に対応がなされ、課題解決へ期待の持てる提案であった。

「コストマネジメント」においては、マストとベターの優先順位付けによる手法が、物価高騰が続く状況下において、予算超過の早期把握と予算超過時の迅速な対応が期待できる提案であった。

また、プール及びサブアリーナの先行竣工の可能性を探ることで、建設費とLCCだけでなく、県民体育館休館に伴う社会的・運営的コストまで含めた指標において、県民にとって最適な選択肢を比較・判断する提案がされており、独自性のある幅広い視点での検討がなされた提案であり、高評価につながった。

○次点者（A社）

リスクを考慮した前倒しの工程管理の提案や2段階のサウンディング調査による施工者確保の提案など、各項目の提案に関するフォーマットや考え方は良く、高評価につながった。ただ、提案内容や質疑への回答について、具体性が乏しかった。

○3位（B社）

事業に内在するリスクを数値化して、リスク管理をする提案は独自性のある提案で、効果の期待できる提案であった。ただ、県内事業者の活用が、JVという形ではなく、協力会社という形であった点が残念であった。